



令和4年4月7日

データあり

市政記者クラブ 様

東山総合公園
動物園 茶谷・江口
電話 782-2111

東山公園に生息するサンショウウオが新種であることが分かりました

東山動植物園の飼育職員が高知大学などの研究機関とともに調査したところ、東山公園を含む愛知県西部に生息する日本固有のサンショウウオの一種が新種であることがわかり、その報告論文が学術誌に掲載されましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 新種サンショウウオについて

(1) 名称

学名：*Hynobius owariensis* 和名：オワリサンショウウオ

(2) 特徴

これまで、このサンショウウオは東海から近畿にかけて生息するヤマトサンショウウオと同じ種とされてきました。しかしながら、名古屋市及びその周辺から知多半島にかけて生息するヤマトサンショウウオの集団については、特徴である尾の上下縁の明瞭かつ鮮明な黄色い線がなかったことから、東山動植物園の飼育職員らが遺伝子や形態などを詳細に研究した結果、新種であることがわかりました。

(3) 生息状況

雑木林・竹林の開発や湿地の減少によって絶滅の危機に瀕していると考えられ、名古屋市版レッドリスト2020では絶滅危惧I A類に、あいち2020レッドリストでは絶滅危惧I B類に指定されています。(ただし、ヤマトサンショウウオとして。) 東山公園内の生息地については地元の保護団体などと連携しながら保全活動をすすめています。

(4) 基準とした標本

新種を発表するときには、その基準となる「模式標本」を指定する必要があるため、東山公園で発見された標本を指定しています。東山公園は模式標本が発見された模式産地として、その自然環境が特に保全される必要があります。

2 記載された論文

(1) 学術誌名

神奈川県立博物館研究報告 (自然科学) 2022 巻 51 号

Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science). (2022) No.51

(2) 論文及び著者名

Taxonomic Re-examination of the Yamato Salamander *Hynobius vandenburghi*: Description of a New Species from Central Honshu, Japan.

菅原弘貴 (高知大学)、藤谷武史 (名古屋市東山動植物園)、瀬口翔太 (近畿大学)、澤島拓夫 (近畿大学)、永野昌博 (大分大学)

3 当園での飼育展示

自然動物館 2 階両生類コーナーにて常設展示中で、飼育下繁殖にも成功しています。

【写真】



(東山公園に生息するオワリサンショウウオ)



(展示中のオワリサンショウウオ)

【展示場所】

